心内心電図解析システムWorkMateTM ClarisTM 仕様**書②**

1. 心内電位解析装置は以下の要件を満たすこと
2. シグナルコンディショニングユニットは以下の要件を満たすこと
3. 心電図12誘導、カテーテル電極入力数120極、観血血圧4チャンネルからのデータを

取得する機能を備えていること

1. 心腔内の電位チャンネルは448チャンネル以上の保存が可能であること
2. 心内電位を表示するハイパスフィルタは、0.05 ～ 200 Hzの範囲で選択が可能であること
3. 心内電位を表示するローパスフィルタは、10 ～ 500 Hzの範囲で選択が可能であること
4. A／D変換は、32 bit以上の機能を備えていること
5. サンプリングレートは、常時2kHz以上の設定が可能であること
6. すべての波形はユニポーラ電位として記録が可能であること
7. 本体コンピュータは以下の要件を満たすこと
8. 1-1に表記したEPアンプボックスとは光ケーブルで接続されること
9. OSはWindows XP以上、CPUはPentium Xeon Quad Core以上を使用していること
10. メモリは4GB以上であること
11. ディスクドライブは500GB以上のRAID1仕様であること
12. DVDドライブを内蔵し、患者データの保存が可能であること
13. ディスプレイモニタは以下の要件を満たすこと
14. 本体側、術者側モニタはワイド23インチ以上の液晶カラーモニタであること
15. 液晶カラーディスプレイ解像度は、1,920×1,080 dot 以上であること
16. リアルタイムモニタ、レビューモニタとして、各1台以上を有すること
17. 本体アプリケーション機能として以下の要件を満たすこと
18. 1ページの最大波形表示数は、64 チャンネル以上を表示できること
19. ウィンドウページ数は、7ページ以上設定が可能であること
20. リアルタイム波形掃引速度は、25~600 mm/secの範囲で選択が可能であること
21. レビュータイム波形掃引速度は、25~600 mm/secの範囲で選択が可能であること
22. リアルタイムの電位波形は自動的にインターバルを解析し表示する機能を有すること
23. RFデータとの通信が可能であり、通電中のグラフをレビュー画面上に表示できること
24. 緊急時に30秒前から遡ってデータ保存が可能であること
25. イベントログへの挿入が任意で設定できること
26. システムユニットにFFT解析の機能を備えており、最大8秒間の解析が可能であること
27. レビュー画面上でリアルタイム画面を表示でき、リアルタイム波形を2画面表示できること
28. リアルタイムスクロール機能を備えていること
29. 刺激装置からのパルス信号や不整脈（頻脈、徐脈）、通電信号を自動認識して波形データを

保存する機能を持つこと

1. 波形データをJPEG、 AVIファイルでの出力が可能であること
2. 三次元マッピング装置と接続するインターフェイスツールを備えており、マッピングポイント

取得が心内電位装置側でも可能であること

1. 解析用ノートパソコンは以下の要件を満たすこと
2. 心内電位解析装置のレビュー機能を有すること
3. ユニポーラ電位として記録された波形は任意電極間のバイポーラ波形として再解析できること
4. 取り込んだ波形に対しフィルター設定の変更が可能であること
5. 付属品は以下の要件を満たすこと
6. カテーテルジャンクションボックスを有すること
7. 1-6-1のボックスは専用金具にてベッドレールにワンタッチで固定可能であること
8. カラープリンタを1式有すること
9. 無停電電源を有すること
10. トランスフォーマを備えていること

2． 心臓カテーテル用3次元カラーマッピングモジュールは以下の要件を満たすこと。

2-1-1 アンプシステムは以下の要件を満たすこと。

2-1-1-1 コンタクトマッピングをおこなうためのモジュールを備えていること。

2-1-1-2 ノンコンタクトマッピングをおこなうためのモジュールを備えていること。

2-1-1-3 12誘導心電図および心内電極128極を入力する機能を備えていること。

2-1-1-4 心腔内形状の作成は、任意の電極128極を使用して作成可能な機能を備えていること。

2-1-1-5 患者の呼吸に起因するカテーテルの動きを相殺するための呼吸補正機能を備えていること。

2-1-1-6ノンコンタクトマッピングに対応でき、専用カテーテルで計測した心腔内電位信号から、3,000点以上の心内膜面電位の計算ができること。

2-1-1-7 同時にナビゲーションできるカテーテルの電極数は120極以上であること。

2-1-1-8 電極カテーテルは、10本以上同時にナビゲーションする機能を備えていること。

2-1-1-9 心腔内形状の半透過表示およびエッジエンハンスメント表示ができること。

2-1-1-10 CTもしくはMRIのDICOM3.0スライスデータを取り込む機能を備えていること。

2-1-1-11 取得したDICOM3.0データから立体画像を構築する機能を備えていること。

2-1-1-12 構築した立体画像と2-1-4で作成した心腔内形状と統合し表示する機能を備えていること。

2-1-1-13 1に表記した心臓カテーテル用検査装置と接続するインターフェイスツールを備えており、マッピングポイント取得が心臓カテーテル用検査装置側でも可能であること。

2-1-1-14 操作画面、エラーメッセージ表示は、日本語及び英語に対応できること。

2-1-2 本体コンピュータは以下の要件を満たすこと。

2-1-2-1 1-1に表記したアンプシステムとは、光ケーブルで接続されること。

2-1-2-2 OSは、x86\_64-Linux-2.618相当以上を使用していること。

2-1-2-3 メモリは4GB以上であること。

2-1-2-4 ハードディスクドライブは1TB以上であること。

2-1-2-5 DVDドライブを内蔵し、患者データの保存が可能であること。

2-1-2-6 キーボード及びマウスを有すること。

2-1-3 ディスプレイモニタは以下の要件を満たすこと。

2-1-3-1 本体側、術者側モニタは対角24インチ以上の液晶カラーモニタであること。

2-1-3-2 液晶カラーディスプレイ解像度は、1,920×1,080ドット 以上であること。

2-2-3-3 本体コンピュータ用モニタ、術者用リモートモニタとして、各1台を備えていること。

2-1-4 トランスフォーマーは以下の要件を満たすこと。

2-1-4-1 患者に対する電源の絶縁及び万が一の漏れ電流の抑制を目的とし、2-1に表記したEPアンプボッ

クス及び2-2に表記した本体コンピュータに各々接続して500VA以上の電源供給をおこなえるこ

と。

　以　上